

4月18日(木)、21日(日)

## 気ままに歩こう会

(第161回)青梅 塩船観音ツツジ苑見物ウォーク(実施報告)

4月18日(木)と21日(火)に、青梅の「塩舟観音寺」の「つつじ苑」を見に行つて来ました。本番の18日は「落語を楽しむ会」と重なつたためか、参加者は11名。21日のアンコール会は8名でした。

青梅線・河辺駅を10時頃スタートし、途中、江戸期の慶安元年(1648年)建立の春日神社で小休止、11時過ぎに鶯の鳴声に迎えられて、塩船観音の山門に到着。約1万7千本植えられていると云う「つつじ苑」の花は、今年の桜の開花が例年になく遅れたのと同じ事情でかなり遅れており、咲いているのは、本番の18日は全山の約2~3割、アンコール会の23日でも約5~6割でしたが、開花前で緑のままの木々との色鮮やかなコラボは十分に目の保養になりました。

大きな船の形をしている「つつじ苑」の舳先に当たる位置に立つ「観音様」の足元で写真を撮り、中央の広場で昼食を済ませて、12時半頃、帰途につきました。途中で立ち寄つた「宗泉寺」は天文19年(1550年)創建で、東京都指定天然記念物のカヤの巨木(樹高約25m、幹周り約4.6m)で有名なお寺。遅咲きの枝垂れ桜の下にある四阿(アスマヤ)で小休止の後、ゴールの東青梅駅に向かいました。

両日とも終日、花曇り花冷えで、3月中下旬の陽気は想定外。つつじ苑の全山満開の「つつじ」は全くの期待外れでしたが、広々とした大空の下、丘陵地帯の新緑や沿道の民家や古社・古刹の庭に咲くミツバツツジ、山吹、牡丹、石楠花、バラ等や、道端のスミレ、タンポポ他の草花を視界に収め、春たけなわの郊外ウォークを楽しんで来ました。

(歩行距離:約5.1km ゴール解散:東青梅駅:PM2:00頃 写真提供:I. Mさん)



青梅市吹上・春日神社にて  
(2024.4.18)



塩船観音様の足元からの眺望(2024.4.18)



塩船観音から宗泉寺に向かう道(2024.4.18)